



6月1日(土)に運動会を実施しました

運動会を6月1日(土)に実施しました。本年度も各学年「走の運動」「表現運動」「団体競技」の3種目に絞り、午前中で全ての競・演技が終了できるように計画しました。大変良い天気となり、運動場もすっかり乾いていて、とても良いコンディションの中で子どもたちはいきいきと競・演技しました。

保護者のみなさまには、お忙しいところを参観いただき、愛情のこもった温かい声援をいただきましたこと、心より感謝を申し上げます。また、PTA役員・委員をはじめ保護者のみなさんには、駐車場係、会場内パトロール、写真撮影、終了後の片づけ等、運動会の運営にご協力をいただきました。おかげをもちまして混乱なくスムーズに進行でき、無事終わることができました。本当にありがとうございました。



子どもたちは、とてもよく頑張りました。懸命に走る子どもたちの真剣な顔、ニコニコ笑顔で生き生きとダンスする姿等を見て、「目の前の一つひとつのことに一生懸命取り組むことの尊さ」「最後まで粘り強く成し遂げることの大切さ」「運動することの楽しさ」を改めて感じました。とりわけ高学年の表現運動「できっこないをやらなくちゃ(5年生)」「MORNING SUN(6年生)」は、さすが上級生、表情はキリリと引き締まり、キレのある素早い動きやなかと心を一つにして動く一つひとつの振りがピシッと決まっていました。ダンスをなかとともに楽しむ余裕さえ感じました。参観していた下級生たちも感動し、良き手本となりました。

運動会をなかと力を合わせてやり遂げたという達成感と自信は、必ずこれからの学習に生かされていくこととおもいます。

今後とも、本校教育活動に対するご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

プール清掃・プール水泳!

6月10日(月)の午後からプール掃除を行いました。6年生が更衣室、トイレ、プールサイド、そしてプールの中を手分けして一生懸命キレイにしました。おかげでプールはピッカピカになりました。

6月20日(木)からは体育科で水泳の授業を始めています。子どもたちは、プール水泳の時間が待ち遠しく、とても楽しみにしているようで、朝出会うと「先生、今日プールある?」と尋ねてきます。水難事故防止、熱中症対策をしっかりしながら、子どもたちに力をつけていきたいとおもいます。



読む楽しさを味わわせたい 「全校読書週間」の取組

6月10日より「全校読書週間」の取組を行いました。本を読むことで子どもたちは新し

こと せかい し かんどう え し ぶん かんが も かんせい みが はんだんりよく
い事や世界を知り、感動を得、自分なりの考えを持つようになります。感性が磨かれ、判断力
を伸ばし、表現力を高めることができるようになります。また、他者とコミュニケーションする
能力の基礎が築かれ、生涯にわたって自発的に学習する習慣を身につけていくことができ
ます。

せんじつ ほんねん ど ねんせい じつ し ぜんこくがくりよく がくしゅうじょうきょうちよう さ ねんせい じつ し
先日、本年度の6年生で実施した「全国学力・学習状況調査」と4・5年生で実施した「み
えスタディチェック」の自校採点を行い、結果分析を行ったところ、「文章を最後まで読み切
る力や記述されていることを読み取る力が弱い」「条件に合わせて書くことや事実と感想・意
見を区別して書くことが弱い」といった課題がみえてきました。

ほんねん ど こ だし がくりよく ゆた ところ はくく こ
本年度は、子どもたちに「確かな学力と豊かな心」を育てていくため、子
どもたちに読書習慣をつけていく取組を特に大事にしていきます。具体的
には、子どもたちが本の魅力や楽しさを味わえ、読書する機会を増やし
ていけるよう、「味見読書」に取り組んだり、毎学期の「全校読書週間」
において、読み聞かせボランティア「どようっこクラブ」のみなさんや教職員による読み聞か
せ等に取り組んだりしていきます。また、夏休みに向けて「読書したことを表現する取組(1年生
：読書の記録、2年生～5年生：読書感想文、6年生：読書推薦文)」に取り組んでいきたいと思
います。



かてい において も 「いっしょに本を読む」「読んで感じたり思ったりしたことをいっしょに考
える」など、子どもたちが「本を読む楽しさを味わう」ためにご協力をお願いいたします。

SNSによるトラブルから子どもたちを守るために



れい わ ねん けいし ちよう ぼつひよう けい ことち ほんざい ひ がいとう
令和4年に警視庁が発表した「インターネット利用に係る子供の犯罪被害等
の防止について」によると、SNSに起因する犯罪の被害児童数は、令和4年が1,
732人で、一番多かった令和元年から少し減少したものの依然として高い水準
で推移しています。また、令和4年の被害児童を学校別に見ていくと、小学校・中
学生が全体の89.5%を占めています。小学生は114人で、前年と比較すると
37.3%増加しています。被害の中には「児童買春」「児童ポルノ」といった重大
な事案も含まれています。さらに、被害にあった児童のうち、保護者がフィルタリングを行い
ネット利用を管理していたのはたったの11.9%であったことも分かってきています。

それぞれのご家庭での子どもたちの様子はいかがでしょうか？不安に思われるところはあり
ませんか？チェックしてみてください。

- スマートフォンでできることは、子どもたちにとって魅力的です。つつい夢中になって
睡眠時間が短くなったり、生活リズムが乱れたりしていませんか？
 - 瞬時にやり取りする文字だけの会話では、気持ちが通じず仲間はずれになるなど、大人の目
に届きにくいところでトラブルに発展しがちです。大丈夫ですか？
 - 自撮り画像や、安易な気持ちで送った悪ふざけ画像。ネットで一度でも流れると、すべて
を回収・削除することは不可能です。大丈夫ですか？
 - ゲームでの高額な課金、オンラインショッピングサイトでの詐欺被害など、お金の係わるト
ラブルも起きています。大丈夫ですか？
- インターネット被害から子どもたちを守るために、ご家庭でも次のことに、ぜひ取り組んで
ください。

- ① インターネット利用について、家庭でルールをつくり実行しましょう
 - ・ 利用する時間、場所について
 - ・ メールやSNSをする相手について
 - ・ ネットでの買い物やお金のやり取りについて
- ② フィルタリングによって有害情報から子どもを守りましょう